**＜はじめに＞**

皆さんこんにちは。私は認定NPO法人あっとほーむというところを運営しているんですけど、市営地下鉄の中川駅からすぐの所にある一軒家を活用して子育て支援事業をしています。26年前に私がたった1人で始めたところなんですけど、その当時保育園6時半までだったので、6時半のお迎えに間に合わないというお仕事の方のために、代わりにお迎えに行って連れてきて、手作りのご飯を食べお風呂に入れ、お父さんお母さんの帰りまで楽しく待つ、という実家のような子育て支援をしてきました。

そして今、小学生もあの放課後から利用したいということであるの放課後児童クラブ、いわゆる学童保育もやっています。

この講演会10年やっていますので、えっと10年の遍歴も踏まえて皆さんに来年の小学校生活どういう風になるのかなっていうところを大きくお話しさせていただきます。

そして細かいところは皆さんの後ろにいらっしゃる小学校の先輩のパパママがお話ししてくださいますので、最初の50分間私からお話いたします。

それではねちょっと皆さん最初に緊張していると思いますし、えっと午後のこのご飯食べてまどろみの中お話聞いていただくので、ちょっとアイスブレイクします。皆さんのお隣にいる方後ろにいる方前にいる方大体同じ小学校に行くお父さんお母さんなので、ちょっと顔を見て目で挨拶してくださいこんにちはって優しい笑顔で。はいこの後の情報交換会でも同じ小学校のパパママと先輩パパママがグループになって、あのザックバランにお話ししますので、あのそんなに緊張しないでここ聞いてもらいたいと思っています。

ただ皆さんのお子さんが小学校に入ってからえっ50分間授業40分から45分ぐらい授業があるんですけど、この午後の時間の授業を大体今からお話しする時間と同じなんですよね。午後の時間ってこんなに眠くなるんだ、でも頑張ってみんなあの聞いているんだっていうこともあの思いながらお話しさせていただきます。

さて、それでは改めまして横浜市都筑区「小学校入学前に知っておきたい大切なこと今から備える小一の壁」講演会を始めます。本日の内容はこちらです。講演会50分程度の中で私がお話しするのは親から社会へという項目、そして小学生の1日学校と放課後についてお話しします。最後に小学生の1年を通してお話ししていきます。途中でね、あの色々ご質問があるかもしれませんけど、最後まとめてご質問受け付けられますので、是非聞いていてください。そして最後講演会が終わったら情報交換会を30分程度行います。

**＜小学校入学は自立への第一歩＞**

それではまずこちらですね、小学校入学は自立への第1歩ということで、親から社会へ子供が巣立っていく、旅立っていくための第1歩がこの小学校入学です。えっとこれまで皆さんお子さんにたくさん愛情をかけて育って、あの育ててきたと思います。で、親が中心だったここまでのえっと年齢、年月とこれから小学校入学して中学、高校まであっという間です。

その間に親だけじゃなくて、学校の先生や学童の先生、地域の大人の皆さんにたくさん見守られてたくさん頼ってっていうことをしていく歳になります。東京大学先端科学技術研究センターの熊谷先生が言っているんですけど、自律とは依存先を増やすことと言っています。

これは親以外の頼れる人を増やすことになります。皆さんからえっと安心してえっと愛情をもらって育ってきた子供たちが、これから先たくさんの人に愛されるように、是非皆さん頼れる人を見つけてあげてください。

さて小一の壁というと子供が小学校入学を機に見えてくる働く親の壁をイメージする方が多いですよね。この講演会では、子供の小学校1年生の壁、小一の壁というのを中心にお話ししていきます。

小学校6年間で子供の心と体ってかなり成長します。文部科学省令和4年学校保険統計によると、小学校入学時の子供の平均身長は117cm。皆さんのお子さんどうですか。そして体重は21kg平均です。これが小学校卒業する時には身長が146cm体重は40kgになります。平均ですよね。なので今私が小学生たくさん見ていますけど、身長161cmの私よりも大きくなる小学生もいるし、まだまだこのぐらいの子もいるし。でももう確実に大きくなります。身長は約30cm、体重は20kgも増えることになります。

じゃあ気持ちの面がどうなのか、っていうのをちょっと見ていきます。小学校1、2年生は大人に見守られることで努力し、課題を達成し自信を深めていくことができる時期です。この大人に見守られることっていうのがすごい大切なんですね。見守られているって子供が思うの

は横についてくれていること、または自分の見えるところにいて自分を見てくれているっていう状況があれば、子供は見守られているなって分かります。なのでこれから先勉強やったとか、えっと他の子やっているから早くしなさいとか、自分でやりなさいとかじゃなくて一緒にやってあげる、一緒に勉強見てあげる、または隣で今からママとかパパも仕事するから一緒に勉強しようって言って勉強の時間を作ってあげる。そんな風に一緒にやってあげるっていうことが必要です。

そしてちょっと先になりますけど、3年生4年生になると同年代の集団や仲間を好み、大人に頼らず行動しようとする、他者の視線や評価に敏感になる。この時期に自己肯定感とか言われるものが結構上下していきます。

他の人はできているのに自分だけできてないとか、他の人に何気なく言われた一言で傷ついちゃったとかそんなことが多くなりますので、お父さんお母さん、気持ちの面をここでフォローしてあげてください。

そして5、6年生になると大人から一層自立的になり、小人数の仲間で秘密の世界を共有するようになります。友情が芽ばえ、個人的な関係を大切にするという時期です。だからお父さんお母さんに1から10まで言っている今の状況よりも、半分ぐらいしか言わなくなっちゃうかもしれない。そしてここ思春期と言われる時なので、お父さんお母さんに見えないところで何かしたり、えっと知らないところで何かするっていうことにスリルとかワクワク感を感じて、自分が自立しているっていう風に思ってしまう時期です。

でもこの思春期の入り口とか、これからどんどん親から離れていく中で、えっと今から皆さんが1番大切にして欲しいのがこの褒めるっていうことです。子供の年齢が上がれば上がるほど大人の皆さん褒めなくなります。もうこれはもう分かっていることで、私たちのような学童保育の先生とか、あと学校の先生にこの子こんなにいいことがありましたよ、こんなにすごいことがありますって言った時にいやいやうちの子なんてとか、家では何にもやってないんですよって言っていませんか。それ、小学生の子供はもう間に受けますから。是非その時にそうなんです、うちでもこういうことやって偉いんですって褒めてあげてください。親バカって言われてもいいですから褒めましょう。

**＜小学生の一日（朝の時間・学校の様子・放課後）＞**

じゃあ今度小学生の1日の時間帯を見てみましょう。小学校に行くと保育園時代と違って

時間が全然違うんですよね。朝7時から預けられた保育園じゃなくて、8時過ぎでないと門

開かない学校。そこに自分であの歩いていかないといけなくなります。なので、お父さんお母さんから見たら預ける時間が全然違うという風に思うかもしれないです。

で、えっと小学校とその朝の時間と夕方の時間とちょっと分けて今から説明していきます。まず皆さんが1番気になるところ、多分小学校の中どうなっているんだろうって思いますよね。で、第1子が入学する皆さんが多いと思うんですけどそれだと全然わからない、そして今皆さんがこのいる小学生時代のことを想像して、私の小学生時代はこうだったとか、自分の小学生時代はこういう風だった、っていう30年ぐらい前の話を皆さん想像していると思うんですけど、もう全然違うので、その内容をちょっと先生にビデオで説明していただいて、情報交換会ではPTAの人たちにお話を聞いていきましょう。じゃあ今から学校の先生の説明をちょっと見ていただきます。

～小学校入学後の学校生活について

多様な環境で育ってきた子供たちが、スムーズに学校生活に適用し学習に円滑に接続できるよう、段階的に指導していきます。生活科を中心として合科的・関連的な指導を取り入れたり弾力的な時間設定を行ったりすることで、各教科の学習につなげていきます。

入学当初は子供たちにとって初めてのことばかりです。まずは安心して学校生活を送れるよう、朝の支度や帰りの支度、給食の準備の仕方・片付け方などゆっくり丁寧に指導しています。言葉の指示だけでなく絵カードなど視覚的な表示を使って指導することで、自分から進んで行動する習慣も身に付いていきます。

学習については良い姿勢、鉛筆の持ち方、話すこと・聞くこと・書くことなど学習の基礎・基本を繰り返し指導していきます。入学当初の子供たちの発達特性に配慮し、15分程度の短い活動を設定するなど、弾力的に運用していきます。

朝や帰りに幼児期に親しんできた手遊びや歌、絵本の読み聞かせなどを行うこともあります。本校では1年生と6年生が縦割ペア学年となり、日頃から交流をしています。5月の縦割遠足では、縦割グループの6年生と一緒に山崎公園に行き、ウォークラリーをしたりお弁当を食べたりして過ごしました。6年生は、入学したばかりの1年生に掃除のやり方を教えたり、休み時間に一緒に遊んだりするなど、日頃から1年生を温かくサポートしています。

～小学校までに身に付けておくとよいこと～

基本的な生活習慣を身に付けることが、学習習慣の定着にもつながります。名前を呼ばれたら「はい！」と返事をしたり、先生や友達に挨拶したりできると良いです。

話を最後まで聞くことや、自分の気持ちを伝えることも大切です。学校で何か困ったことがあった時に、自分の気持ちを伝えられるようにしておくと良いです。

また、身の回りの片付け、自分の持ち物の管理、衣服を畳むことなどもできるようにしておくとスムーズに学校生活が送れるのではないかと思います。

これらは入学後にも繰り返し指導していきますので、少しずつ身につけていけば大丈夫です。入学後何か心配なことがありましたら、いつでも担任や児童支援専任教諭までお知らせください。

はい先生からの動画は以上ですけど、ゆっくりあのスムーズにみんなができるように指導してくれますので、そこは安心して先生に任せてください。

えっとそして皆さんのお子さんの状況って、学校の先生も私たちのような放課後の居場所

の大人たちも分からないんですよね。保育園でどうだったとか、幼稚園でどんな感じだっ

たとか、お家でどういう様子だったかっていうのは、是非保護者の皆さんから先生たちにどんどん言ってあげてください。

それでは今から小学校の生活の後、行く場所居場所をちょっとお話ししていきます。ここで大切なのが保育園か幼稚園って、皆さんが働いている間に子供預かってくれる場所っていう風に思っていた方も多いと思うんですけど、今回は小学生なので預け先ではなく子供自身の居場所にもなるっていうことが大切になります。だからいやいや行くじゃなくて、そこに楽しみに行くっていう場所の方が、えっと子供にとっては行きやすいです。

**＜放課後や夏休みの過ごし方・放課後の居場所（放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ）＞**

横浜市でやっている放課後児童のえっと放課後の子供たちの居場所事業をちょっと説明していきます。横浜市が放課後児童健全育成事業としてやっているのが放課後キッズクラブ、学校の中にある居場所です。そして放課後児童クラブ、これは学校の外、一軒家やテナントでやっているところです。もう1つがえっと発達に不安があるという方のための、放課後デイサービス、療育というものがあります。もう1つが子育てサポートシステムですね。詳しくは皆さん、こちらの資料あの持っていると思うんですけど放課後の居場所っていう小学生の放課後っていうテキストですね。ここに書いてあります。

放課後の居場所、まず学校の中で過ごす放課後キッズクラブというものは学校の空教室を利用してやっています。学校とは違います。学校の先生が関わっているわけではなく、社会福祉法人や公益財団法人、株式会社とかが委託されて、えっと皆さんのお子さんを見てくれています。でそこの空き教室でやっているんですけど、登録として区分1わくわく区分というものと区分2のAとBというのがあります。時間で見ていただくと分かりやすいんですけど、放課後から午後4時まで過ごせばいいということであれば区分1というものに登録すれば大丈夫です。

でも放課後から5時までもおやつも食べさせて欲しいとか、ちょっと5時までいさせて欲しいっていう場合は、区分2のAというところ、そして放課後から午後7時まで見てほしいということであれば区分2のBというところに登録する必要があります。

この辺の細かい情報は、皆さんの学校説明会行った時にキッズクラブの説明会があると思いますので、そこで聞いてあげてください。そしてもしかして今日先輩保護者の方でキッズクラブ利用しているっていう方がいるかもしれないので、どうですか実際っていう風に聞いてみて

ください。

そして学校の外にある放課後児童クラブというのがあります。でこちらの方はここのテキストに書いてありますけど、子供たちが安全で豊かな放課後を過ごすために、地域の理解と協力のもとで運営しているところです。キッズクラブも児童クラブも、横浜市の健全育成事業で厳しい基準をクリアしたところが運営しています。

えっと放課後児童クラブ、学校の外でやってるところに関しては午後7時まで利用できるし、クラブによってはもっと長くまで利用できるところもありますので、クラブに直接連絡して相談してください。この裏面にえっとクラブのリストとか場所が書いてあります。

あとは、ちょっと発達が心配だなとか他の子とちょっと違うんだけどなっていう思いがあったら、区役所とか療育センターに相談して、自分の放課後の居場所もちょっと違いますけどあの相談して療育センター行くとか放課後デイサービスに行くとかっていう選択肢もあります。とそしてえっと放課後の場所があるんだけど、ちょっと習い事の送迎してほしいとか朝の時間ちょっと子供1人になっちゃってちょっと心配っていう方のために、子育てサポートシステムというのがあります。と今からその子育てサポートシステムを横浜市都筑区でやっている方に詳しく説明していただきます。

**＜子育てサポートシステムについて（都筑区子育て支援センター「Popola」三上恭子氏）＞**

こんにちは、横浜子育てシステム都筑区支部の三上と申します。「子サポ」について少しお話をさせていただきます。横浜子育てサポートシステムは横浜市の事業です。えー横浜市内18区の子育て支援拠点が、各区支部事務局を担って運営しています。

横浜子育てサポートシステムは、地域ぐるみで子育て支援を目指す会員制の有償支え合い活動となっております。通称「子サポ」です。地域の子供を預けたり、預かったりすることで人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみで子育て支援を目指しています。子供を預かって欲しい人と子供を預かる人に会員登録をしていただき、条件の合う近隣の方との出会いをサポートしています。子育てサポートシステムでは、小学校卒業までのお子さまのサポートをご利用することができます。

えと、サポートまでの流れを簡単にご説明します。こちらの図にあるように、まず会員登録をしていただいた後にサポートのご希望が決まりましたら、事務局にご連絡をください。その依頼内容に応じ預かってくるくれる会員さんをお探しします。預かってくれる会員さんが見つかりましたら、依頼をされた会員さん皆様の方にその旨ご連絡をさせていただき、事前打ち合わせというものを行ってからサポートの開始となります。えー子サポでは、大人から大人への引き渡しをルールとしております。またサポートが始まる前に保護者の皆様、お子様、預かってくださる会員の方、えーまた私たち事務局のコーディネーターも同席で事前打ち合わせというものを必ず行います。お顔合わせを行うとともに、安心・安全にサポートをできるようにお

伝えしたいことを一緒に確認します。

小学校入学してすぐは、えー朝ご家族の出勤時間の方が早く、1人で鍵を閉めてお子様が登校するのにまだちょっと不安、という場合もあると思います。そのような時の登校前の預かり、あと学校までの送りですね。学校で先生がいるところまでの送りになります。また放課後ですね、放課後の習い事やえー塾の送迎と学童保育やキッズ等にお迎えに行ってもらう、あとは学童保育やキッズにお迎えにいった後、下校後の預かり、そのような利用があります。あと長期のお休み、夏休み・冬休みなどのご利用も多くなっております。

えー利用料としましては、会員登録料などはなく平日朝7時から夜7時までの基本のお時間は1時間500円の利用料となります。それ以外の、早朝ですとか夜7時以降のちょっと遅いお時間、あとは同日祝日などお休みの日は、えーサポートしてくださる方が見つかれば利用することができます。その場合の利用料は1時間600円となっております。

えーその他詳細につきましては、えー入会説明会がありますのでそちらでご案内をさせていただいております。子サポへの入会をご検討いただいている方は、まずは子サポについてよく理解していただいた上で利用していただきたいと思っておりますので、まずは入会説明会にごご参加ください。

入会説明会の方は、18区どこで聞いていただいても大丈夫です。18区それぞれの子育て支援拠点主催で開催しておりますので、ご都合の良い日程会場でお申し込みください。小学校入学後のご利用を検討している場合は、えー入会からご依頼、会員の方をお探ししてマッチングを含め、サポート開始までの期間も少し必要になりますので、早めに入会登録を進ませておくことをお勧めしています。会員になった後、こんなサポートをしてもらえたらいいな、という内容が決まりましたら事務局にご相談いただければと思います。

えー本日ですね、会場の外のテーブルのところに、パンフレットと入会説明会のチラシをご用意しておりますので、お持ちいただければと思います。

地域の中で繋がりができて、えっと近所の知り合いができて子育てをするご家族の協力者となっていただいて、一緒にお子さんの成長を見守ってもらえることが子サポの1番良いところかなと思っております。ご実家が遠いですとか、あとは引っ越してきたばかりでご近所にまだ頼れる方がいないという場合なども子サポの利用を検討していただければと思います。

最後に都筑区の事務局はセンター北の駅ビルの「あいたい」の中にある子育て支援センター「ポポラ」の中にあります。ご質問等がありましたら、お気軽にお問い合わせいただければと思います。よろしくお願いいたします。

（三上氏説明終了。小栗氏に引継ぎ）

はい、ありがとうございます。今日ご参加のあの方の中で子育てサポートシステム登録されている方、いらっしゃいますか。お、いますいますいます。パラパラっと上がりましたね。はいえっと、サポートシステム、登録あの説明聞かないといけないので、今のうちから説明会に参加して登録していざという時のために、あの登録だけしておくといいと思います。

じゃあ実際みんなどうしているっていうことを説明します。学校から放課後キッズクラブや学校から放課後児童クラブ、学校から放課後キッズクラブ経由して放課後児童クラブ利用する方もいるし、朝は子育てサポートシステムでお願いして学校行って、放課後は放課後児童クラブに行く人もいる。全部使っていいんです。

全部使っていいけれど、拠点となる居場所っていうのをこどもが分かっていることが大切です。「今日俺どこに行くか分からない」とか「今日誰が迎えに来るかわかんない」っていうと子供も不安だし、お父さんお母さんも分かって説明しているけど、えっと子供はまだ十分理解してないっていう時があるので、分からなくなったらここに行きなさいとか、何かあったらここに頼りなさいっていう拠点を是非作って、えっと子供と共有してあげてください。

で、さっき皆さんに見せたこの学校とえっと小学校と放課後の時間って時間帯でやると、こんなに違うんですけど、えーNPO法人放課後アフタースクールのホームページによると小学校低学年の場合、小学校にいる時間は年間1,200時間だそうです。1,200時間で、放課後の時間プラス夏休みの学校がない時の時間は年間1,600時間です。

学校より放課後の居場所にいる時間の方が長いんですね。なので、ここで誰と何をしてどういう風に感情になって過ごすのか、どういう感情になって過ごすのかって結構大切なので、できれば親の都合で行く、選ぶっていうのももちろんいいんですけど、親の都合プラス子供がここに行きたいっていうところを選んであげてください。この拠点となるところを、あなたの拠点とかあなたの居場所はここっていうところを共有してください。

**＜小学生の一年（入学に向けて今からできること・入学後最初の夏休みの過ごし方・夏休み以降の過ごし方）＞**

それではここから小学生の1年について、皆さんにお話ししていきます。

春夏秋冬に分れて、まず春が大切です。この4月、入学してから夏休み前までの間、すごく子供も変化するし大人の皆さんもどうしたらいいかわからないってことになります。なのでまず今日から、今日帰ってからこの辺は意識してやって欲しいことを5つ書いておきました。

1つ目が体力強化をしてください。今保育園や幼稚園でカバンを持ってあげたり、なんか荷物持ってわーっと走るだけみたいな感じの場合は、自分の荷物を持って歩くっていう練習を是非させてあげてください。で、1駅先まで歩くとか2駅先まで歩くとか、ハイキングに行くとかお父さんお母さんが嫌だなと思うことはやらなくていいんですけど、一緒にやって楽しいと思うことは体力をつけるっていう意味でも是非やってください。

2つ目に知っている場所を作ること。これは通学路を是非知っている場所にしてあげてください。えーこの後先輩ママ・パパ達からご近所の人がいたらここが通学路だよって教えてもらえると思うのでそこの通学路を是非お休みの日にお子さんと一緒に歩いてください。でそうすると俺ここ通ったことある、私ここに猫がいるの知っているんだ、とかなんか安心できるんですよね。知らないところをドキドキしながら歩くよりも、知っているところをあの荷物持って歩くみたいな感じの方がいいです。

そして3つ目に学校の時間割りをえっとこの後聞いていただいて、5分ずつ早寝早起きをすることをお勧めします。今保育園行っている子が多いと思うんですけど、昼寝の時間があると夜寝る時間遅くなりますよね。で、だんだんあの保育園側も卒園に向けて昼寝の時間短くしたり昼寝がないっていう風になってくれると思うんですけど、えっと朝の登校時間8時10分くらいに登校すると思うと、家を7時50分ぐらいに出る。で、そうするとその間に支度をしないといけないから、何時ぐらいに起こせばいいんだろうと思うと、多分保育園や幼稚園に行くより早く起こさないといけないんですよね。自分で着る洋服これじゃないとか学校のランドセルに入れる荷物がないとかって言って大騒ぎすることを考えたら、1時間ぐらいもちょっと余裕があった方がいいと思います。そのために5分ずつ早年早起き、是非今日からやってください。

そして4つ目に放課後の居場所。えっと放課後キッズクラブという学校の中にある居場所に関しては、まだ見学とか個別に対応してないと思うんですが、学校説明会の時に説明があります。あると思います。それぞれの学校で。なのでそこでちょっとこうちらっと見たり、えっとどんなんだろうっていう風に聞いてみたりしてください。学校によっては放課後キッズクラブ、学校の外からちらっと見えるところもあるので、あの自分の学校、あの是非ちらっと見てください。

で放課児童クラブなんかは事前に何回か行けることも多いと思うので、何度か行って安心感を持たせてください。

そして最後に、えー小学校に入ると学習が出てきます。宿題がある。学校で勉強して宿題持って帰ってくるんですね。で、最初の頃は宿題ないですけど、2週間3週間ぐらいするとプリント1枚持ってきたり、今日は国語の教科書読むっていう宿題を持って帰ってきたりします。だけど宿題を宿題として認識するのに時間がかかります。宿題今日ある？って言ってもないって言います。でもえっと連絡帳見たり友達ママ友とかパパ友とかに連絡したり、先生からもし連絡があったらこれ宿題じゃんっていうのがあると思うので、是非今日の宿題があるかないか、これが宿題だよっていうのを是非教えてください。

放課後の居場所でできる場合もあるんですけど、クラブによって違うので、えっと放課後の居場所で宿題できるのかどうかっていうのはそれぞれ聞いてあげてください。ちなみに私たちの学童保育で宿題やるのを見るんですけど、1年生の時、もうやだやだやりたくないって言って2時間ぐらいググズグズしてやらない子がいたんですけど、ずっと付き合っていて3年生ぐらいになったら2分ぐらいでできるようになりましたので、あの1年生の時は2時間ぐらいもしかしてマックスでかかるかもっていうのを覚えといてください。

で、そしてえっと家で勉強する時は、子供に勉強やっときなさいって言って丸投げするんじゃなくて、お父さんとお母さんと一緒に勉強やってくださいね。さっき言ったけど、大人に見守られて課題を達成していくので、是非見守ってあげてください。

で、この時期ですね小学校の先生も、私たちのような放課後の居場所の先生たちも、皆さんのお子さんのことまだ分からないんですね。保育園どこの保育園から来たとか、えっとどういう友達がいるっていうのは簡単に聞けるかもしれないけど、日々の様子を是非皆さんから先生たちに伝えてあげてください。自分の子供はこういう風なえっと傾向があって、ここのところに弱い、こうすると結構泣いちゃうとかお家でもこういう感じなんです、だからサポートしてくださいっていう風に細かく細かく言ってあげれば言ってあげるほど、先生たちはあ、そうな

のね、じゃあこういう風にしてあげなくっちゃっと思うので、えっと先生が全然分からなくて子供にどうやって投げかけようって思考錯誤しているうちに、春が終わり夏休みになっちゃったっていうよりは、春のうちに皆さんがどんどん先生に情報提供してあげた方が、子供と先生へのコミュニケーションが取りやすくなります。そして夏休み。先月まで夏休みでしたけど、えー1ヶ月ちょっとぐらいあります。長いか長く感じるかもしれないけど、意外にあっという間です

夏休み、子供たちがかなり大きく成長しますので、是非冒険させてあげてください。

おじいちゃん、おばあちゃんのところに行っているようだったら、子供だけでちょっと泊まらせてみるとか、公共施設のプログラムで野外活動も小学生だったら参加できます。

横浜市の野外活動センターっていうのが各区あり、あの何箇所かありますので、そういうところでも小学生だけで参加できるものがあります。

そして企業とか、あと都内に行くと大使館とか、あと官公庁あとこないだ私宮内庁のえっと子供見学デーとか申し込んだんですけど、落ちちゃいましたけどなんかそういうの夏休みにいっぱいあるので、是非検索して申し込みして色々体験させてあげてください。

そして4つ目いつも行っている習い事で、えっと1日習い事の日とかキャンプとかあると思うので、普段の習い事の強化などもここの時にできます。

そして夏休みが終わる頃、是非学校のお友達との時間を作ってあげてください。この後説明しますけど、秋と冬って小学校にまた1ヶ月ぐらい行かなかった小学校にまた行くので、結構大変なんですよね、気持ち的に。なので、夏休みの間に小学校の友達と遊ぶっていうことを思い出させてあげるために、友達と遊ぶっていう機会を是非、あのお父さんお母さんの仲間同士で今日遊ぼうよ、みたいな感じで作ってあげてください。

で、そしてあの夏休み明けの対策をするとうまくえっと学校にスムーズにまた行けるようになります。けれどこの時期そんなにスムーズに学校に行ける子がいるかどうかっていうのは分かりません。皆さんのお子さんがどうなるか。泣いて行き渋ったり、もう学校行かないっていう場合もあるかもしれない。そんな時はお父さんお母さんだけじゃなくて、学校の先生とか放課語の居場所とか友達とか親族とかにたくさん相談してあげてください。

この秋冬はちょっと1つ目2つ目、えっと言いますと運動会とか参観日が結構ありますので学校の年間スケジュールもらったら、えっと自分の仕事の都合をつけて家族で旅行に行ったりすることもいいですし、放課後の居場所でイベントなども企画されているので、そこに楽しんで行ってらっしゃいって言って行ってもいいです

あとは、今年もそうですけど夏休み明け、感染症が広がります。保育園とか幼稚園とかどうですか。ちょっと小学生広がってきているし、中学生も広がっているっていう風に聞いていますので、えっと感染症対策としてマスク付けるなり、ちょっとソーシャルディスタンス取るんだよって言ってあげるなりしてあげてください。

**＜まとめ＞**

でここまででまとめると、えー子供の健全育成に必要な居場所は、家庭でお父さんお母さんだけが頑張ればいいわけじゃなくて、学校の先生や地域の人、放課後の居場所の先生とか地域活動をしているおじさんおばさんたちとかたくさんいると思うので、そういう人たちの助けを借りながら子供を育てていくのをお勧めします。

１番最初の方に言いましたけど、１、２年生は大人に見守られることで努力し、課題を達成し、自信を深めていくことができる時期です。この時期に皆さんと先生たちと地域の人たちと一緒に子供たちを褒めて、褒めて、褒めて、いっぱい褒めて育てて、あのたくさん成長してもらいましょう。

はい、小学校入学は自立への大一歩として、えっと褒めるっていうことと、自分でできるように手伝うっていうことがポイントです。

はい、それでは今日ここまでで小学校入学までに、えっと必要なこと、大切なこと、そして小学校入学したらこういうことになるよっていう大まかなことを説明させていただきました。この後、えっと情報交換会とかありますけど、これで一旦私のお話を終わりにします。「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える小一の壁～」の講演会をこれで終わります。ありがとうございました。